

感染症医の視点から考える標準化

～現場は何を望んでいるのか～

◎井口 光孝¹⁾

名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部¹⁾

『標準化』とは JIS Z 8002:2006 において『实在の問題又は起こる可能性がある問題に関して、与えられた状況において最適な秩序を得ることを目的として、共通に、かつ、繰り返して使用するための記述事項を確立する活動』と定義されている。

微生物検査の標準化を考えるにあたり、『实在の問題又は起こる可能性がある問題』として何を挙げるべきか？感染症医の視点からは、【適切な微生物検査が行われない】より上位の概念として【適切な感染症診療が行われない】を提案したい。概念を広げることで、検査内容に絞られがちな議論が「得られた検査結果を正しく現場に伝えるプロトコル」なども『標準化』の対象となり、適切な感染症診療が提供される機会の増加に寄与するであろう。

当日は事例を用いてより具体的に提示した上で、積極的なディスカッションを行いたい。

連絡先 名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部

電話番号 052-744-2955